

いのちを守る福祉・防災都市東京へ！ 都政に憲法を！

都民がつくる革新都政

2017年7月15日
発行 = 革新都政をつくる会
発行人・中山 伸
〒170-0005 豊島区南大塚 2-33-10
東京労働会館5F 電話 (5978) 4031
ホームページ: http://kakushintosei.org/
E-mail: info@kakushintosei.org
(1部25円、送料は別途)

安倍政権への国民・都民の怒りが爆発的に示される 築地市場の存続、大型開発優先、金融都市政策から 都民生活優先へ転換の都政を



都議選で「憲法9条を守ろう」「豊洲移転中止、築地での再整備」と訴える人々(しんぶん赤旗より)

2017年都議会議員選挙の結果について

2017年7月14日
革新都政をつくる会代世話人会議

安倍自公政権の暴走政治、党で自民党を上回りまし

への審判と東京都政の転換が大争点となった都議会議員選挙(定数127)は、7月2日投票の結果、安倍政権への国民の怒りが爆発的に示されるものとなりました。自民党は過去最低の23議席で歴史的敗北となり、小池知事が代表をつとめた都民ファーストの会が55議席を獲得し、選挙協力した公明党などを合わせた知事支持勢力は過半数の79議席を占めました。共産党は17議席から19議席と前回に続き連続躍進し都議会で重要な位置を確保しました。報道各社の出口調査では無党派層の投票先は、都民ファーストが1位、第2位は共産党、第3位は自民党、第4位は公明党、第5位は民進党、第6位は社民党、第7位は無所属、第8位はネット、第9位は維新、第10位はその他、第11位は無所属、第12位は無所属、第13位は無所属、第14位は無所属、第15位は無所属、第16位は無所属、第17位は無所属、第18位は無所属、第19位は無所属、第20位は無所属、第21位は無所属、第22位は無所属、第23位は無所属、第24位は無所属、第25位は無所属、第26位は無所属、第27位は無所属、第28位は無所属、第29位は無所属、第30位は無所属、第31位は無所属、第32位は無所属、第33位は無所属、第34位は無所属、第35位は無所属、第36位は無所属、第37位は無所属、第38位は無所属、第39位は無所属、第40位は無所属、第41位は無所属、第42位は無所属、第43位は無所属、第44位は無所属、第45位は無所属、第46位は無所属、第47位は無所属、第48位は無所属、第49位は無所属、第50位は無所属、第51位は無所属、第52位は無所属、第53位は無所属、第54位は無所属、第55位は無所属、第56位は無所属、第57位は無所属、第58位は無所属、第59位は無所属、第60位は無所属、第61位は無所属、第62位は無所属、第63位は無所属、第64位は無所属、第65位は無所属、第66位は無所属、第67位は無所属、第68位は無所属、第69位は無所属、第70位は無所属、第71位は無所属、第72位は無所属、第73位は無所属、第74位は無所属、第75位は無所属、第76位は無所属、第77位は無所属、第78位は無所属、第79位は無所属、第80位は無所属、第81位は無所属、第82位は無所属、第83位は無所属、第84位は無所属、第85位は無所属、第86位は無所属、第87位は無所属、第88位は無所属、第89位は無所属、第90位は無所属、第91位は無所属、第92位は無所属、第93位は無所属、第94位は無所属、第95位は無所属、第96位は無所属、第97位は無所属、第98位は無所属、第99位は無所属、第100位は無所属、第101位は無所属、第102位は無所属、第103位は無所属、第104位は無所属、第105位は無所属、第106位は無所属、第107位は無所属、第108位は無所属、第109位は無所属、第110位は無所属、第111位は無所属、第112位は無所属、第113位は無所属、第114位は無所属、第115位は無所属、第116位は無所属、第117位は無所属、第118位は無所属、第119位は無所属、第120位は無所属、第121位は無所属、第122位は無所属、第123位は無所属、第124位は無所属、第125位は無所属、第126位は無所属、第127位は無所属。

9条を守る議席の前進を、(2)税金の使い方を、(3)治への転換を東京から、(4)豊洲移転中止、築地で再スタートを、(5)革新・民主の議席の前進で真の都政改革を、の4つを重点に都政転換を訴えました。選挙戦の結果は、「森友・加計」疑惑にみられる国政の私物化、「共謀罪」法の強行にみられる憲法破壊の政治、憲法9条改悪をすすめる自民党安倍政権に対して都民が「ノー」の声を、つぎ

豊洲移転はやめて、築地の再整備をしよう

2017年6月26日
豊洲移転中止署名をすすめる会
発起人 本間 慎
 瀬川 美千世
 中澤 誠

小池東京都知事は6月20日、豊洲問題について「築地は守る、豊洲を活かす」の基本方針を発表しました。築地の土地を売却せずに「築地を守る」と約束したことは築地市場関係者、都民の運動の成果です。しかし、その内容については問題があります。

1)「豊洲市場の土壌汚染の追加対策を講じた上で築地市場を豊洲に移転する。」
豊洲市場は専門家会議が指摘しているように「地下にはベンゼン等の有害物質が高濃度に残留し、【無害化(環境基準以下)】にすることはできなかった」と言明し、東京都議会の決議事項である「無害化」が実行できませんでした。

6月11日の専門家会議では、地下水に含まれる有害物質が盛り土のない地下空間を通じて市場に入り込むのを防止するため地下に特殊シートやコンクリートで補強し、換気や地下水汲み上げを実施するのが妥当であるとし、シートの場合工期期間が22カ月、工事費50~55億円、コンクリートの場合工期期間8カ月、工事費15~20億円と試算しています。シートについてもコンクリートについても耐用年数について、科学的な報告はなく、また、この30年間に70%の確率で発生すると予測されている巨大地震に耐えられるかの検討もなされていませんでした。全く科学者の提案とは思われない無責任な計画と言わねばなりません。「無害化」がされておらず、安心・安全が確保されていない豊洲への移転は百年の悔いを残す可能性があります。専門家会議は「豊洲移転は中止し、築地市場での再整備を行うべきである」と結論すべきでした。

また、豊洲の地下を「無害化」出来なかったことに小池知事は謝罪し、「食の安全・安心」に責任をもち、「築地ブランド」を守るといふのであれば、「築地市場の豊洲移転は取り止める」とキッパリ発言すべきです。

2)「築地跡地は売却せず、5年後をめどに再開する。」
築地跡地を売却せず、5年後をめどに築地市場を再開するという方針のうち築地を再開するという点は従来の立場からの大きな転換で評価できます。ただ、リップ・サービスに終わらせないために、5年後をめどにせず、ただちに再整備に取り組むべきです。

重要なことは、卸売業者、仲買業者(売買参加者も含む)が共同して稼働し、そして場内、場外市場が一体となって協力しあって発展するよう、つまり、歴史的な魚河岸の市場を生かしたものでなければ本来の築地ではなくなってしまいます。5年間の空白は築地市場の経営、再建に大きなマイナスとなることでしょう。

市場機能を含む「食のテーマパーク」を想定しているようですが、単なる観光地ではなく、現在の築地中央卸売市場の機能が確実に果たされる場であり、築地の食文化に根づいた場であってほしいものです。世界のスターをとりこにするハイブランドを手掛けるチャンネル社長のリチャード・コラス氏は「築地を移転するなんてノートルダム大聖堂をパリからリヨンに移すのと同じくらいバカげたことだ」といっています。また、「築地は日本にとってブランドだから銀座のアイデンティティは、まさしく築地のような場所とチャンネルのビルや歌舞伎座のような場所との間にある【緊張関係】によって生まれているのです。築地のように銀座を銀座たらしめている場所がなくなってしまうでしょう」といっています。

3)「豊洲市場は市場機能のうち、市場外流通機能などを維持。IT技術を活用し、総合物流拠点として強化し収益改善を図る。」

築地の再開後は豊洲を中央卸売市場として羽田空港に近い立地上の利便性もあり「市場プラス、近代的なIT技術を活用し、冷凍冷蔵・加工機能を強化した総合物流センターとする」といいます。つまり、豊洲と築地で機能分担をしていくという方針らしいです。具体的には述べていないので分かりませんが、豊洲を中心として築地は支部として細々と食文化を維持させるというのでしょうか。豊洲から築地にもどる業者には経営支援を検討するとしていますが、豊洲に残留することも認めるのでしょうか。新しく建設する築地市場地以外の土地は民間に賃貸するなどして開発し、世界や日本の食の関連業者を集めた「食のテーマパーク」を設置するというのでしょうか。

そうなれば、築地で築き上げてきた世界的に知られた日本の伝統的な食文化は分断され、失われてしまいます。

最後に、先人たちが築き上げてきた日本の伝統的な食文化を発展的に継承するために、卸・仲卸・関連業者など市場関係者全体の合意で中央卸売市場として築地市場の再整備を行うべきです。そのために、直ちに都知事の責任で「基本方針」を撤回することを求めます。

つけ、自民党が歴史的な大敗を喫するものとなりまし。また、この自民党政治への都民の怒りのもとで、小池知事が「党首をつとめた都民ファーストが第一の議席を占めることになり

が各地で精力的にとりくま。また、この自民党政治への都民の怒りのもとで、小池知事が「党首をつとめた都民ファーストが第一の議席を占めることになり

たためにとりくみ全力をあげます。都政を保育待機児童や特養待機者の解消、子どもの貧困対策や貧困と雇用の対策、国民健康保険、介護保険の負担軽減、35人学級の教育条件改善、中小企業の振興、都営住宅建設、に全力をつくす決意です。

防犯など切実な都民要求の実現、築地市場の存続、外環道や特定整備路線、再開発などの大型開発優先、金融都市政策から都民生活優先へ転換させるために、都民の共同をすすめる、その実現

はかつてなかった。その他は諸派。改選時欠員1。都民ファアには選挙後の追加公認分は含まない

	計	候補者数	改選時	前回当選
自民党	23	60	57	59
公明党	23	23	22	23
共産党	19	37	17	17
民進党	5	23	7	15
都民ファ	49	50	6	—
ネット	1	4	3	3
維新	1	4	1	2
社民党	0	1	0	0
その他	0	17	0	7
無所属	6	40	13	1
計	127	259	126	127

* 青い空 *

自民党の政治とはどういふものか、ということとをこれほどわかりやすく示されたのが迎えた選挙というものはかつてなかった。

たのびはなろうか▼女性代議士が秘書に対して行った、ハワハラ「ハゲ」という音声など、一度聞いたら忘れられないものとして記憶に残った人も多かったに違いない▼自民党都連会長があ「加計」から200万円のカネを11人にわけ受けたことが、なぜ10人ではなくわざわざ11人なのか、などということも国民だましのわかりやすい算数問題としてすぐ答えが出せた人も多かったにちがいない▼防衛大臣が「防衛省自衛隊としてお願い」などといった「こりゃあぶない」と感じた人も多かった。東京というところは町会会長選挙のとき、つい「町会」として「なごりも」大問題になるところなのだから、都民をなめちやいな

い▼こういう政治が、じつは共謀罪法強行や憲法破壊につながっていることを、文字とおりの全都民的な認識につなげるということは、これからのわれわれの運動課題である。今回の都議選は自民党の歴史的な大敗と報じられているのは、そのとおりではあるがその「歴史的」といふことなにかみにつくのは、これからのわれわれの課題だということになる。(木)

